

群馬県立富岡高等学校 学校評価一覧表② (令和4年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達成度			改善策のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	黒門キャリアプランやコース制について満足していると答える生徒が90%以上である。 総合的な探究の時間(課題解決型インターンシップ、探究活動など)に主体的に取り組んだと答える生徒が80%以上である。	A	A	A	コース制についての検討を行い、生徒の進路実現に向けて最善と思われる指導体制を確立したい。	就職希望の生徒も含めて、進路目標に応じた教科選択ができるようにしたい。 ・少人数を生かし個に応じた指導を期待したい。 ・探究活動の成果や内容及びそれによって得られる効果を、もっと保護者等に対して発信していく方がよい。 ・インターンシップを通じて自分の将来の目標・夢を考えるのは素晴らしいことである。 ・個で研究テーマを設定し、フィールドワーク発表会を設ける。 ・独創性・課題追求力はキャリア形成で重要である。 ・メリハリのある行事、思い出に残る行事、仲間意識が高まる行事を実施する。 ・部活動については、少子化の影響はあると思うがもっと活性化させて地域を盛り上げて欲しい。 ・ボランティア活動について引き続き情報伝達をお願いしたい。	コース制に変わる具体的な指導体制を確立していく。コース制から変わることによって各種課外等の検討も必要と思われる。 探究活動全体の関連性の強化やさらなる特色化を図りたい。
	2 学習と特別活動(部活動・ボランティア等)の両立を目指した教育を推進していますか。	学習外の活動を主体的に行えたと答える生徒が80%以上である。	A	A	A	学習以外の活動の意義を周知し生徒の主体的な活動になるような指導体制を確立する。教育活動の速やかな情報伝達を行い、保護者・地域との連携を深める。	特別活動のさらなる充実を図り、生徒主体の活動場を増やしたい。	
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	主体的に学習に取り組んでいると答える生徒が80%以上である。	A	A	A	指導内容や指導方法を精選し、生徒が達成感や満足感が得られる授業を実施する。ICTの活用により内容の理解の深化に繋がる工夫を行う。	指導と評価の一体化を継続して行い、生徒の主体的な学習活動を計画的に評価できるようにする。	
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	進路目標に応じた学力を身につけたと自己評価している生徒が80%以上である。	B	B	B	生徒が学習成果を実感できるような授業や課題の改善に努めた。授業を補う課外補習を計画的に行った。生徒が主体的に自分のペースで学習しやすいよう、自主学習会の実施やスタディーホール等の環境整備を行った。	進路実現のために効果的な授業の実施に加え、課外補習や自主学習会の方策等について、各学年や教科と検討していく。また、課題や家庭学習を充実させるような手段についても、その可能性を探る。	
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	企画会議、学年会議、各分掌会議等でえた生徒に関する情報を生徒指導部生活係会議(月3回実施)で集約する。	A	A	A	定期的・計画的に会議等を行い、組織的・継続的な指導を行うことができた。引き続き、早期発見と早期対策に努める。生徒指導部生活係会議は18回(12月末時点)開催した。	生徒が充実した学校生活、いじめ防止に対して良い評価をしているのは素晴らしい。 ・全体的に話しやすい雰囲気を作られているのだと思う。 ・自己有用感をともなった自己肯定感が高まるような支援をしていく必要がある。	生徒の抱える問題が年々変化していく中で、その変化に敏感に対応できるよう、職員で情報を共有する。企画会議、学年会議、各分掌会議等でえた生徒に関する情報を生徒指導部生活係会議で集約する。
	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	平常時においても、いじめ防止対策委員会を月1回開催し、問題の早期発見、早期解決、組織的な対応に努める。	A	A	A	面談やアンケートなどで表面化した事例に対しては迅速に対応できた。それ以外の声にならない生徒の声をいかに拾うことができるかが、課題と思われる。いじめ防止対策委員会は4回(12月末時点)開催した。	・日常的な声かけ、相談につとめ、変化に敏感に対応する。 ・富高が特色を出して行くには、徹底して個に応じた指導を進めていく必要がある。 ・街中において自転車通学で見かける生徒の交通マナーは良いと思うが、ヘルメットについては着用率を100%にしたい。 ・夏季にボロシャツの試行は大変良かった。 ・いじめについては、今後も未然防止の取組を進め、人権意識の醸成を進めていく必要がある。 ・より自主性や積極性を高める生徒指導をお願いしたい。	・教職員に対して、「いじめ防止対策推進法」の周知徹底に向けた研修の開催。法に則る組織的な対応。
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	生徒の出席率が95%以上である。	A	A	A	手帳の記述や面談、普段の生活の中から、心の変化を早期に捉える努力を怠らないようにする。家庭の協力を得にくい事例もあるが、ねばり強く伝えていく。	生徒の希望に寄り添い、LGBTQ等に配慮し、社会情勢に鑑みた服装・頭髮の規定の改定。交通安全、人命尊重教育を重視し、自転車用ヘルメットの着用率の向上。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	ドリームプランの様々な企画(課題解決型インターンシップ、探究活動など)が、自分の進路を考えるために役立つと思う生徒が80%以上である。	A	A	A	ドリームプランの各企画の意義を理解させる指導を十分に行い、生徒が自身の進路について主体的に考え、具体的な方向性を持つような取り組みを展開する。	外部講師の助言や各学年の教員の意見・現状の生徒の特性などを踏まえ、学習効果が最大化するようにプログラムの内容を毎年改善し続けることが重要。課題解決型インターンシップについては、地域のニーズとのマッチングも図りたい。	
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	進路実現に向けて、計画的に学習に取り組んでいる生徒が80%以上である。	C	B	B	進路実現のために、計画的な学習が重要であることを学年集会等で生徒に向け繰り返し説明した。調査範囲や長期休業の課題内容を時間的に余裕を持って発信し、自主的に学習できる時間を確保した。	探究部と連携し、課題解決型インターンシップや探究活動など、生徒が進路目標を具体的に考える機会を進路意識の向上へ結びつける方策を探り、学習活動に対する意識を高める。	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	学校の様子や生徒の様子がよくわかると考える保護者が80%以上である。	C	B	B	目標の数値には届かなかったが、ほぼそれに近い結果を得ることができた。特にメールは手軽で便利なツールなので、連絡や行事報告には有効であったと思われる。	メールは今後も大いに活用していくとともに、他に活用できる場面や内容はないかを模索していきたい。	
	『黒門通信』を年間12回発行し、中学生向けの『富高通信』も月1号程度作成する。	A	A	A	A	発行回数や頻度の目標は達成することができたが、大事なのは発行回数や頻度ではなく内容だと思う。同じ題材を取り上げるにしても記事内容や写真を替えるなどの工夫がもっと必要であった。	『富高通信』や『黒門通信』、メール、HPそれぞれの役割や対象、特性などを常に意識し、迅速で効果的な、多くの人に見てもらえる内容を心がけていきたい。また、行事報告はHPへつながるので、HPのタイムリーで効果的な更新も意識していきたい。	
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	1 ICTを活用した指導を行っていますか。	ICT機器を授業で効果的に使用できている職員を80%以上にする。	C	A	B	グーグルドライブの共有フォルダを作成し、簡単に生徒とファイルの共有ができるようにした。	ICTに関しては次々に新しい内容が出てきている。新し内容に関しては使い方をその都度職員に伝えていく。	
	2 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	ICT機器を活用した業務改善を昨年度より多く試み、ICTを活用した業務改善を行っていると感じる職員を80%以上にする。	A	A	A	観点別評価の成績処理について、スムーズな処理が行える用、システムおよびマニュアルを整えた。	校務支援システム(kinako)の導入を今年度は見送ったが、来年度以降の導入に向けて準備していく。	
VII 特別な支援を要する生徒への適切な対応を行っていますか。	1 学校への適応等その他で悩んでいる生徒、特別な支援を要する生徒に適切な対応をしていますか。	悩みを抱える生徒及び特別な支援を要する生徒を90%以上把握している。また、把握した生徒については全てについて適切な対応に取り組んでいる。	A	A	A	特別な支援を要する生徒及びその保護者に対して、外部機関の利用について、適切な方法で勧め、その利用につなげることができた。またケース会議を頻繁に開催して、生徒に関する情報の把握に取り組んできた。	今年度を実現できた取組を、本校の指導として定着させる。また、本校の取組について、保護者や地域の方々にも周知できるような方策を検討する。	